

## 5

## 敷地緑（校庭、駐車場等含）

## 1) 施策の項目と情報整理

施策の項目	NO	施策内容	実施体制	効果	コスト	課題
①オフィスビル公開空地	1	業務ビル周辺に整備された公開空地（東京都品川区）	行政			
	2	SEGESーノリタケの森（愛知県名古屋市）	事業者			
②高層マンション公開空地	3	民間マンション開発に伴い整備された公開空地（神奈川県川崎市）	事業者			
	4	コムシティ野江の緑化（大阪市）	事業者			
③セットバック	5	大阪ビジネスパーク・キャッスルタワービル（大阪市）	事業者			
	6	昭和医大病院（東京都品川区）	事業者			
④生垣化・学校緑化	7	生垣と緑化を施したフェンスによる接道部緑化（世田谷区）	住民			
	8	生垣補助制度による接道部緑化（大阪市）	住民			
⑤オープンガーデン	9	オープンガーデンクラブ東京（東京都）	住民			
	10	さがみはらオープンガーデン（神奈川県相模原市）	住民			
	11	ハンギングバスケットによる接道部緑化（東京都）	住民			
⑥民有地等での緑化	12	集合住宅の芝生駐車場（大阪府三島郡島本町）	事業者			
	13	駐車場の芝生化助成ー県民まちなみ緑化事業（兵庫県）	住民			
	14	空き地を活用したコミュニティガーデン（川崎市）	住民			
	15	身近な広場（世田谷区）	行政			
⑦校庭の芝生化	16	関目小学校の全面芝生化（大阪市）	協働	○		○
	17	北条小学校の中央部芝生化（大阪府大東市）	行政	○	○	
	18	小阪小学校の周縁部芝生化（大阪府東大阪市）	行政			
	19	山之上小学校の部分芝生化（枚方市）	行政	○		○
	20	校庭芝生化（京都市）	行政	○	○	
	21	低コスト芝生化（鳥取県）	行政	○	○	
	22	校庭芝生化（堺市）	協働	○	○	○
⑧その他	23	接道部緑化（東京都中野区）	事業者			
	24	既存樹木を保存した緑化（京都市）	事業者			
	25	消防活動用地の芝生舗装（茨木市）	行政			
	26	公園の駐車場芝生化（京都市）	行政		○	○
	27	大阪府庁の芝生駐車場（大阪市中央区）	協働	○		○
	28	福祉センターの駐車場芝生化（兵庫県）	行政	○	○	○
⑨企業等との協働花壇	29	神戸市ふれあい花壇（神戸市）	事業者			
	30	神戸市スポンサー花壇（神戸市）	事業者		○	○

水循環	河川水	地下水	上水	下水再生水	雨水・中水
	—	△	○	○	○

## 2) 施策・取組、参考事例

## ① オフィスビル公開空地

○市街地再開発事業で整備された業務ビル周辺には、総合設計制度に基づく公開空地によって多くの緑化空間が整備されている。

## ① 業務ビル周辺に整備された公開空地（東京都品川区）



○JR山手線大崎駅周辺で進められている再開発事業の多くでは、公開空地が多く整備され、都市部における貴重な緑地環境を提供している。

## ② SEGES－ノリタケの森（愛知県名古屋市）



○本社工場の東側一帯を緑地に整備するとともに、産業文化の発信基地となるミュージアムやギャラリーなどを開設し、一般に公開したものである。

○環境保全のみならず、産業観光振興や地域防災への貢献をも目指した緑地空間となっている。

（資料：SEGESホームページ）

## ② 高層マンション公開空地

## ③ 民間マンション開発に伴い整備された公開空地（神奈川県川崎市）



○隣接する二つの高層集合住宅が公開空地を共有することで、駐車場屋上緑化と一体となった緑地空間を整備した。

（オーチャードプラザ／オーヴェルグランディオ川崎）

○屋上緑化大賞受賞作品

（資料：（財）都市緑化技術開発機構ホームページ）

## ④ コムズシティ野江の緑化（大阪市）



○都心に立地する高層集合住宅地の住棟間において、駐車場屋上までのあらゆる高さに植栽を施すことによって敷地周辺からの緑視率増大に寄与している点、周辺居住者への公開性を考慮したデザインや雑木林の風景を創出した質の高いデザインが評価できる。特に、高中木に加え低木や地被植物を多層に導入したきめ細かな植栽計画、段差に配慮した樹林の林床を縫う園路計画、周辺との一体感を演出した多様な植栽による敷き際の処理などが魅力を増している。

（資料：大阪府ホームページ）

## ③ セットバック

## ○セットバックと接道部緑化

## ⑤ 大阪ビジネスパーク・キャッスルタワービル（大阪市）



○道路に沿ってボリュームのある常緑樹の高木を配した事例。  
○高木・低木による厚みのある植栽帯が道路との境界を形成するとともに、遮音や大気浄化などの機能も果たしています。

（資料：緑化計画の作成マニュアル（大阪府）37頁）

## ⑥ 昭和医大病院（東京都品川区）



○民間病院の外周部分をセットバックし、街路空間と一体的な緑地を整備している。

## ④ 生垣・学校緑化

## ○地区計画における接道緑化

## ⑦ 生垣と緑化を施したフェンスによる接道部緑化（世田谷区）

○良好な住宅地環境の維持を目的とした地区計画の規定項目の一つとして、「垣又はさくの制限」が設けられ、「生垣または緑化を施したフェンスとする」ことを示し、まちづくりが進められている。

（資料：世田谷区ホームページ）

8 生垣補助制度による接道部緑化（大阪市）



○敷地・生垣化への助成は、公共道路に面した民有地の緑化事業として進められ、建物の屋上、テラス、壁面への緑化事業も対象としている。

暮らしのそばに、緑のゆとりを。

**敷地・生け垣等緑化、建造物緑化への助成**




道路に面した敷地、みなさんの住宅や事務所などの屋上や壁面に、美しい緑を増やしましょう。

**助成対象**

敷地・生け垣等緑化への助成は、公共道路に面した民有地の緑化事業です。（ブロック塀を撤去して生け垣等の緑化を行う場合はブロック塀等の撤去費用を含みます。）建造物緑化への助成は、民間建造物の屋上及び公共道路に面した民間建造物の壁面などの緑化事業です。

**助成内容**

①大阪市は200万円を限度として、植栽費及び屋上緑化の基盤整備費の1/2以内の額と生け垣等を設ける際のブロック塀の撤去費（延長1m当たり6,000円以内）を助成します。  
植栽費とは、植物材料（樹木やシバ・セダムなどの地被植物）、植え付け、客土、支柱の費用です。屋上緑化の基盤整備費とは、緑化区画造成、排水及び灌水施設等の工事に要する経費です。  
②助成後、樹木の良好な維持管理を行っていただくとともに、植樹後5年間は移植しないでください。

**申請時の必要書類**

①緑化事業計画書及び図面  
②緑化事業収支予算書  
③施工業者の見積書  
④付近見取り図  
⑤その他、市長が必要と認める書類

※総合設計制度や緑化施設計画認定制度など法令により緑地等の設置を行う場合や、大阪市との事前協議や緑化指導などにより緑地等の設置を行う場合、他の公的助成を受ける場合には申請できません。

参加の方法と助成のしくみ

（資料：大阪市ホームページ）

## ⑤オープンガーデン

- 個人の庭園を、広く一般に公開し観賞してもらう「オープンガーデン」という取組が、全国的に広がっている。
- 日本のオープンガーデンは、それぞれの地域で公開方法や運営体制などが異なり、官民一体で行っている市町や、愛好家による組織運営、無料・有料、通年公開から季節限定の公開など、様々な方法で行われている。

### ⑨ オープンガーデンクラブ東京（東京都）

○個人庭園の公開により、街の公的な緑地空間に位置づけられる施設。



（資料：オープンガーデンクラブ東京ホームページ）

「オープンガーデンの定義と日本における事例」東京農業大学 相田明、服部勉、進士五十八）

### ⑩ さがみはらオープンガーデン（神奈川県相模原市）



○財団法人相模原市みどりの協会では、平成16年10月から個人の庭園を始め、企業や公共施設等の庭園を対象に「さがみはらオープンガーデン」として、公開していただけるオーナーを募集するとともに、登録していただいた庭園の公開を随時行っている。

○地域に密着したオープンガーデンを通して、より多くの人と一緒に草花を楽しみ、出会いや交流を通じて、花とみどりがあられるまちづくりがより一層推進されるものと期待している。

（資料：（財）相模原市みどりの協会ホームページ）

○ハンギングバスケットによる接道部緑化

### ⑪ ハンギングバスケットによる接道部緑化（東京都）



○壁面緑化の一手法として、バスケットを設置し、緑化を行っている。

（資料：東京都建設局ホームページ）

◎民有地等での緑化

12 集合住宅の芝生駐車場（大阪府三島郡島本町）



○踏圧緩和用補助資材としてブロックを使用しているタイプの事例です。  
○芝生の養生効果をあげるためにブロックを保水性ブロックとするなど、様々なタイプがあります。

（資料：緑化計画の作成マニュアル（大阪府）58頁）

13 駐車場の芝生化助成—県民まちなみ緑化事業（兵庫県）



○「県民緑税」を財源とした緑化事業の一つとして、県民まちなみ緑化事業があり、駐車場の芝生化なども助成の対象となっている。

（資料：兵庫県「県民まちなみ緑化事業パンフレット」）

○公的な空き地の緑化

14 空き地を活用したコミュニティガーデン（川崎市）



○道路沿いの空き地を活用して、市民活動団体が花壇の整備・維持管理を行っている。

（資料：国土交通省ホームページ）

○民有の未利用地を借り上げて整備した広場

15 身近な広場（世田谷区）



○固定資産税や都市計画税の免除と土地管理の軽減を条件に、民有地の未利用地を借り上げ、児童から高齢者までが利用できる広場を整備している。（2006年3月現在 197箇所）

（資料：国土交通省ホームページ）

### ⑦校庭の芝生化

- 全面芝生化を行った学校では、養生期間は校庭を全く利用できないため、通常の体育授業ができないなど、通常事業を行えない場合もあるが、野鳥や昆虫の飛来が多くなる。怪我が減る。子供たちが寝ころんで遊ぶなど、プラス面が多いことも確認されている。
- 芝生への負担を低減するために、トラックの中央部を芝生化し、芝生の周囲をトラックとして活用して効果を上げている例もある。飛砂防止の効果も高い。
- 一方で、中央の土の部分を中心に使うことによって、芝生部分はトラック外周の緑化に留め、休息エリアなどとしての機能が高くなる例も見られる。
- 通常の利用を継続するために、校庭の使い分けを行うことも有効である。ただし、飛砂防止等の効果が低くなる。
- 校内の中庭を芝生化するなどにより、気温の低減、飛砂防止の効果は高く、また、野鳥や昆虫の飛来が多く見られるようになる。
- 一方で、敷地が狭い場合は、屋上の緑化を図ることも考えられる。

## 16 関目小学校の全面芝生化（大阪市）

## &lt;概要&gt;

○大阪市教育委員会が平成 17 年度から大阪市立小学校を対象に、学校運動場の芝生化等に対して実施している補助事業を活用した取組。

○この補助事業は、地域の方々と小学校との交流、学校の緑化及び環境学習を促進することを目的として、学校運動場の芝生化及び校舎の壁面緑化のモデルとなる整備事業を行う団体に対し、補助金を交付しているもの。

## &lt;補助の内容&gt;

- ・対象 : 地域の方々、PTA、地域団体、学校等の協働により組織される  
(仮称)「運動場の芝生化等緑化委員会」など
- ・補助額

		施工費	維持管理用機器購入経費
芝生化	補助額	整備経費の 1/2 の額	購入経費の 1/2 の額
	限度額	1m <sup>2</sup> あたり 1,500 円 かつ 200 万円	1m <sup>2</sup> あたり 300 円
	申請期間	初回申請年度から 3 ヶ年以内	初回申請年度から 3 ヶ年以内

## &lt;関目小学校での「運動場の芝生化」モデル事業&gt;

○子ども達が PTA や地域の方々と一緒に蒔き芝のほぐし体験、蒔き芝、目土散布、散水などの作業を行った。

(写真上：整備直後、下：整備完了)



## &lt;効果&gt;

○子ども達への効果

環境教育、運動量の増加、環境衛生、怪我の防止、  
校舎内の温度低減 等

○地域への効果

地域連携の深まり、学校への信頼感の醸成、学校の評価向上 等



## &lt;課題&gt;

芝生化にあたっては、下記のような課題があるが、教育委員会で対応策のアドバイス等を行っている。

○芝生化に係る費用の工面

○芝生を根付かせるまでの養生期間（2～3 ヶ月）中は、校庭の利用が制限される

○芝生の維持管理作業に関する知識と労力が必要

(資料：大阪市ホームページ)

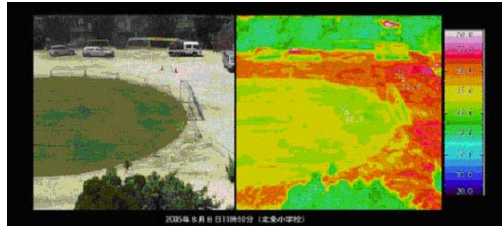
## 17 北条小学校の中央部芝生化（大阪府大東市）

## &lt;概要&gt;

この施設では、飛砂の防止、子供の怪我の減少など、気温低減効果以外にも寄与している。なお、今後発生する本格的な維持管理作業や利用制限については、未知数のところがあり運営委員会による検討が進められている。

## &lt;効果&gt;

北条小学校の温度分布の効果（大阪府大東市）



最も温度差が明瞭に出た時間帯の画像で、緑化面と裸地面とで10℃以上の温度差があることがわかる。さらに、クスノキや奥のカイズカイブキなどの立木の樹冠ではさらに5℃以上表面温度が低い。

（資料：大阪府ホームページ）



## 18 小阪小学校の周縁部芝生化（大阪府東大阪市）



- 平成17年7月12日から25日まで、モデル校7校（全部）を対象に整備した芝生の生育状況を調査した。
- 小阪小学校（ティフトン1種類のみ、オーバーシードなし）では、おおむね生育は良好であったが、一部利用が集中する区域で裸地化が目立ち、区域を限定して使用中断し補植の上、養生中であった。
- 一方、これら利用に伴う踏圧による損傷以外では、病虫害、水ストレス、温度ストレスなどによる生育障害はいずれのモデル校でも特に見られなかった。
- また、雑草についても、調査時点において、いずれのモデル校でもごくわずかであった。

（資料：大阪府ホームページ）

19 山之上小学校の芝生化（枚方市）



<概要>

○この施設では、特に利用制限はしていないが、野球やサッカーでは使わずに、グラウンド部分と使い分けをしている。子供は良く遊ぶようになり、愛着もわいている。

<効果>

○熱環境の改善

- ・芝生とグラウンド（土）箇所の表面温度を放射温度計を用いて計測
- ・約6℃低減

<課題>

- 学校、PTA、地域などの意見を1つにまとめる必要がある。
- 維持管理費用および維持管理労力の確保
- 芝生管理の専門知識を有する人材の不足

（資料：大阪府提供資料）

20 校庭芝生化（京都市）

<効果>

- 教育活動の活発化
- 環境改善効果
- 地域交流促進効果
- 豊かな情操を育む心の教育協調性を育む等
- 大気浄化、熱環境改善景観向上等
- 活動の場提供等

<コスト>

整備費（イニシャルコスト）		維持管理費（ランニングコスト）	
公共	民間	公共	民間
◆ハード整備 約2万円/㎡ (総額約900万円)	—		

（資料：NPO 芝生スクール ホームページ）

## 21 低コスト芝生化（鳥取県）

## &lt;効果&gt;

○気温低下による快適性向上

## &lt;コスト&gt;

整備費（イニシャルコスト）		維持管理費（イニシャルコスト）	
公共	民間	公共	民間
◆ハード整備 約 0.3 万円/㎡ (総額約 1,214.5 万円)	—	◆直接コスト 約 80 万円/年 ※造園業者委託	—

(資料：日本芝生学会 資料)

## 22 校庭芝生化（堺市）

## &lt;概要&gt;

○堺市立英彰小学校の運動場周辺及び中庭、約 1,500 ㎡の芝生化を行う。

○堺市教育委員会、英彰小学校、地元自治会が協働で行う。

○夏の気温上昇を抑え、クーラーの使用が減少し、化石燃料消費の減少、都市気候の緩和、地球温暖化の抑制に寄与することや、芝生運動場の管理を通して児童と学校、地域の人たちとの交流が生まれること、また裸足で走ったり寝そべったりできるなど、土の校庭とは違った運動や遊びが出来ることなどを期待して行われた。

## &lt;効果&gt;

○児童の身体・心理面への効果

- ・挨拶も積極的にできなかった児童が芝刈りの体験を行うことにより積極的に参加するようになった。

## &lt;コスト&gt;

整備費（イニシャルコスト）		維持管理費（ランニングコスト）	
公共	民間	公共	民間
◆ハード整備 総額約 1,300 万円 (市単費)の整備費 道具購入費 150 万円 (芝刈り機等)	—	◆光熱水・メンテ費 電気・水道代は小学校 維持費に含まれる ◆維持管理に対する補助金 約 10 万円/500 ㎡	◆光熱水・メンテ費 維持管理費 30~20 万円/年 ◆オーバーシードの ための播種、散水、 施肥、芝刈り

## &lt;課題&gt;

○行政、学校（職員・児童）、地元自治会三者の連携と協働のあり方

○維持管理費用の負担

○地元中心の維持管理手法の継続

(資料：堺市提供資料)

⑧その他

○公開空地と接道部緑化を一体的に整備し、狭い敷地でも緑化の効果を上げる方策

23 接道部緑化（東京都中野区）



○マンション建設に伴い確保された公開空地の緑化と、道路接道部の緑化を一体的に行うことにより、緑地の一体化を図り緑化の効果を上げた。

（資料：中野区ホームページ）

○樹木保存による緑化

24 既存樹木を保存した緑化（京都市）



○既存のサクラ並木を残した事例。前面の河川と一体となって水と緑の環境を保全するとともに、美しい地域景観を形成しています。

（資料：緑化計画の作成マニュアル（大阪府）39頁）

○公的空間の緑化

25 消防活動用地の芝生舗装（茨木市）




○各消防署と協議の上、必要に応じて設ける必要のある消防活動用地を芝生化することにより緑化面積を確保することができます。本来の設置目的は非常時の緊急車両進入用地ですから樹木の植栽は無理なことと、事前に消防署の承諾を得ておく必要があります。

（資料：緑化計画の作成マニュアル（大阪府）59頁）

○駐車場の舗装

**26 公園の駐車場芝生化（京都市）**

<概要>  
 ○宝が池公園  
 子どもの楽園駐車場(4,900 m<sup>2</sup>)の一部芝生化（野芝）を実施（平成19年度）



<コスト>

整備費（イニシャルコスト）		維持管理費（イニシャルコスト）	
公共	民間	公共	民間
◆ハード整備 約 1.9 万円/m <sup>2</sup> 総額約 91,000 千円 (うち 1/2 は国庫補助金)	—	—	—

<課題>  
 ○駐車場利用者の芝生化への理解・協力  
 ○芝生部分の管理方法


（資料：京都市提供資料）

**27 大阪府庁の芝生駐車場（大阪府中央区）**

<概要>  
 ○車の出入りに芝生が痛まないように、踏圧緩和用補助資材を組み合わせた舗装も開発されている。

<効果>  
 ○熱環境の改善  
 ・緑化箇所と非緑化箇所との表面温度差  
 ・最大で18℃以上の低減効果を確認

<課題>  
 ○工事中、直後の養生中、痛みが激しい場合の養生中に、駐車場を使用できない。  
 ○過剰利用によるすり減りや枯れ  
 ○排水不良による水溜まり  
 ○エンジンからの排熱による傷み



（資料：大阪府提供資料）

## 28 福祉センターの駐車場芝生化（兵庫県）

## &lt;概要&gt;

- 兵庫県が民間企業等から芝生化駐車場の提案・施工を求め、維持管理状況、地表・地中温度、地中水分量等の測定・調査を通して施工仕様やヒートアイランド対策効果等を総合的に評価・検証し、今後の普及促進に繋げていくため「グラスパーキング（芝生化駐車場）推進事業」を実施した。実証実験は、兵庫県福祉センターの駐車場で、平成 17 年 8 月 1 日（月）から開始し、ヒートアイランド効果等の検証を行った。
- 兵庫県福祉センター駐車場 42 区画のうち 36 区画を芝生化した。
- 県がグラスパーキング（芝生化駐車場）に係る民間技術を公募し、各種課題を検証した。施工においては、既存舗装の上に芝生化駐車場を設置した。
- 参加企業は 32 組（40 社等）である。「グラスパーキング施工等調整会議」（構成：参画企業と兵庫県）設立。
- 検証項目は以下の通り。
  - ・施工仕様（耐劣化性、耐タイヤ圧性、費用等）
  - ・ヒートアイランド対策効果（地表・地中温度、地中水分量等）
- 2年間維持管理を継続し、県が毎年の検証結果をまとめた。

## &lt;効果&gt;

- 地表温度の低下
  - ・赤外線カメラの画像分析
- その他、工法ごとに芝の生育状況、タイヤ圧の影響、芝の維持管理のデータ採取
- 21 時の気温との最大差 10 度
- 12 時の気温と最大差 25 度

## &lt;コスト&gt;

整備費（イニシャルコスト）		維持管理費（ランニングコスト）	
公共	民間	公共	民間
—	◆ハード整備 駐車区画の 1 m <sup>2</sup> あたり 施行費用が 10 千円～ 37 千円の範囲にて整 備 ※平成 17 年実績	—	◆光熱水・メンテ費 駐車区画 1 区画あたり の 1 ヶ月の維持管理費 用が 0.2 千円～7 千円 ※平成 17 年実績

## &lt;課題&gt;

- 施工単価、維持管理単価とも大きなばらつきがあり、車両の占有時間を測定していないため、効果や評価の比較は不確定要素を含んでいる。
- 平成 19 年度より、車両の占有時間も測定する実証実験「グラスパーキング兵庫モデル創造事業」を、兵庫県庁前の県庁南駐車場にて実施しており、平成 21 年度までの、3 年間の追跡調査を行う予定。

（資料：兵庫県提供資料）

◎企業及び地域事業者との協働により整備・管理する花壇

29 神戸市ふれあい花壇（神戸市）



- 企業・団体が各区のシンボリックな花壇の維持管理に協賛する制度である。
- 協賛金は一団体当たり年間5万円

（資料：神戸市提供資料）

30 神戸市スポンサー花壇（神戸市）

<概要>

- 都心地域のまちのビューポイントとなる花壇において、管理費を企業・団体に協賛してもらうことで、グレードの高い花壇を市民に見てもらうことができると共に、事業者の公共的緑化活動への積極的な参画を市民にアピールする。



- 企業の社会貢献の一環として、花壇の管理費に協賛いただき、花壇には協賛スポンサー名を設置する。
- ひとつの花壇に、協賛するひとつの企業・団体を募集することから、花壇のデザイン等に対するスポンサーの意向も取り入れ、質の高い花壇としてメンテナンスを行っている。
- 協賛金は1つの企業・団体で、一箇所当たり年間25～30万円。

<コスト>

整備費(イニシャルコスト)		維持管理費(ランニングコスト)	
公共	民間	公共	民間
—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆管理費補助 単価相当 25,000 円/㎡×面積</li> <li>◆メンテナンス費用 3,252 千円 ※平成 19 年度予算</li> <li>◆活動 花壇のサイン設置により、事業者の公共的緑化活動への積極的な参画を市民に広くアピール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動費</li> <li>・新入社員による植付作業体験の実施（スポンサー）</li> <li>・花壇周辺の美化活動の実施（企業）</li> </ul>

<課題>

- 新規の協賛事業者の確保

（資料：神戸市提供資料）

## 3) 関連する制度・事業

名称	主体	概要
総合設計制度	国土交通省	○政令で定める一定規模以上の敷地を有し、かつ、敷地内に一定の空地を確保した計画で、特定行政庁が市街地の環境の整備に寄与すると認めて許可することにより、容積率制限または道路斜線制限等の高さ制限が一定範囲で緩和される制度
市街地再開発事業	国土交通省	○都市開発法に基づき、都市の中心商店街や駅前をはじめとする中心市街地内の木造家屋が密集して防災上危険な地区や、駅前広場等の公共施設の整備が遅れている地区の再整備を行うことにより、活力あふれる豊かなまちづくりを推進する事業
建築物緑化促進制度	京都府	○地球温暖化の防止をはじめ、ヒートアイランド現象の抑制や都市環境の改善を図るため、京都府地球温暖化対策条例に、府民や事業者が建物を建てる際に、基準に従って緑化を進める内容とした緑化促進制度
道路沿い緑化助成制度	目黒区など	○接道部における緑化整備への助成金交付
地区計画制度	世田谷区など	○地区整備計画に、生垣化、フェンスの緑化を示す
生垣緑化助成	京都市	○生垣新設、既存塀の撤去費用の助成(1/2)
敷地緑化、生垣等緑化助成	大阪市	○生垣新設、既存塀の撤去費用の助成(1/2)
生垣設置助成金	草津市	○生垣新設、既存塀の撤去費用の助成
花と緑のグリーンベルト事業	京都市	○主に幹線道路等に面したブロック塀等を「緑の生垣」に整備していく事業
大阪府みんなで育てる花いっぱいプロジェクト	大阪府	○小・中学校に土とパンジーの苗を支給し、緑化の専門家の指導のもと、学校内で子供たちが花を育て、育苗後の花の一部は学校緑化で利用し、残りは道路を始め公共空間の緑化に活用する事業
相模原オープンガーデン	(財)相模原市みどりの協会	○個人の庭園、企業及び公共施設等の庭園を対象にオープンガーデンとして公開して頂けるオーナーを募集し、公開する活動
宝塚オープンガーデン	兵庫県宝塚市	○ 同上
とよおかオープンガーデン	兵庫県豊岡市	○ 同上
緑化基金	全国	○全国の企業や個人からの募金を「都市緑化基金」として運用し、その果実(利子)により、都市緑化の推進、普及啓発事業を行う制度
区民の誇りの木選定制度	京都市	○歴史があり、公の場所から普通に見えるなどを基準にして選定された樹木を保全していく事業
神戸市ふれあい花壇	神戸市	○企業・団体が街のシンボリックな花壇の維持管理に協賛する制度
神戸市スポンサー花壇	神戸市	○企業の社会貢献の一環として、花壇の管理費に協賛いただき、花壇には協賛スポンサー名を設置する事業
世田谷区立身近な広場条例	世田谷区	○民有地の未利用地を借り上げ、広場として整備する制度。固定資産税、都市計画税の免除
屋外教育環境整備事業	文部科学省	○整備費用の1/3
「校庭にみどりのじゅうたんを！」モデル事業	大阪府	○都市におけるクールスポットの創出によるヒートアイランド現象の緩和や「あうて強い芝生」のモデルづくり等を目的として取り組む事業
学校運動場の芝生化モデル事業	大阪市	○整備費1/2(上限200万円、初年度維持管理費上限30万円)
校庭芝生化モデル事業	横浜市	○ワールドカップ決勝戦開催を契機として、校庭の芝生化事業を開始し、現在モデル事業として取り組んでいる。
校庭芝生化事業	東京都	○都内全小中学校の校庭芝生化事業として取り組んでいる。

#### 4) 今後の課題

- 公開空地は、市街地再開発や総合設計制度を活用した再整備等において確保され、都心部における貴重な緑地となっている。特に、近年では公共施設や工場跡地を活用した大規模なエリアでの実施が多くなっており、都市環境づくりにおける役割の比重が高まっており、緑化手法や隣接地域や街路との連携を緊密に行い、貴重な都市空間緑化の先導役となる必要がある。
- 接道部緑化では、生垣整備に関わる助成制度が最も馴染まれ、継続されている事業であり、近年ではその発展形として、壁面やテラス、そして屋上も含めた補助制度が充実されてきている。今後は、その質の向上、街路樹や公園緑地などの公共緑地とともに、隣接施設と一体となった効果的な整備、維持管理を進める必要があり、地区計画や緑化協定などによる取組が必要になる。
- 維持管理には、地域住民やPTAなどの人的な協力体制と、散水、施肥、刈り込みなどの技術的サポート体制が必要である。
- 利用密度（人数）や利用頻度が高くなると、芝生のすり切れ状態が起こり、再生が困難な状態になる例が多く、適正な利用方法の設定について専門的な視点からのサポートが必要である。
- 利用管理は、校庭が狭い学校では、養生期間に校庭が利用できなくなり、通常の体育授業や遊び活動が十分できなくなる例がある。
- 全くの未利用地であるならば、借地公園や市民緑地として緑化を進める方策があるが、駐車場や防災に係わる緊急用地などの緑化は、利用との共存が必要であり、緑化手法や維持管理手法での技術的な支援がより必要になっている。
- 未利用地を活用したコミュニティガーデンなど、都市施設である公園緑地等として整備されない場合には、その維持管理において自治体が全面的に負担することは困難な場合があるため、地域住民や企業などとの協働による取組が必要になる。